

## わがまちトークで頂いた意見・要望等と回答について

日時(H29.1.14 20:00~21:15)

会場(千代川町自治会館)

テーマ(通学路の安全対策について)

	意見・要望などの概要	当日回答内容	所管	対応		
				参考	報告	調査
1	通学路である川関小林線は、狭い上に交通量が多い。30キロ規制を警察に依頼したが、スピード制限だけでは効果がないとの回答である。一方通行にするのも難しい状況である。		総務文教	○		
			産業建設	○		
2	通学時間帯、携帯電話を触りながら片手ハンドルで運転している若いドライバーが多い。モラルの問題だが、取締まりをしてほしい。	自治会から警察に取締まりを依頼したら、対応いただけると考える。	総務文教	○		
3	川東方面から来て月読橋を通り、国道9号を右折し、八木方面に行く車が多い。赤信号になってから曲がる車も多く危険。右折レーンを整備してほしい。	大きい問題なので、これからも要望を続けていく必要がある。	産業建設	○		
4	南丹市でゾーン30が導入された。もっと交通量の多い本市でなぜできないのか。通学路の30キロ規制を望む。	篠町のゾーン30では、制限速度内で走る車は実際は少ないが、以前よりは数キロ減となった。警察が取締りをする事でようやく効果があがっている。要望の声は何度でも徹底して警察に伝えなければならない。	総務文教	○		
5	川関小林線の隣などに、新しく通学路をつくってほしい。	PTAと保護者の見解が異なることもある。PTAがこちらの通学路を通るように言っても、保護者は人の多いところを通らせたがるということもある。地元住民の幅広い合意形成が必要であり、大人・子ども・保護者・近隣住民を含めて相談し、1つの答えを出していく必要がある。	総務文教	○		
			産業建設	○		
6	通学でJRの今津踏切を渡るが、危険である。警察官が誘導してほしい。地下道を設けることなども考えていただきたい。	踏切事故の話も聞く。拡幅されたのはよいが、交通量も増えたとも聞く。産業建設常任委員会で意見を共有していきたい。以前、並河駅が新しくなった時、住民がJRに陳情し、地下道が設置された。自治会長に任せるだけでなく、皆でJRなどいろいろなところに生の声を届けることも大事である。	総務文教	○		
			産業建設	○		
7	川関小林線が一番危ない。篠の事故の教訓をなぜ他に生かさないのか。何か起きてからでは遅い。早めに対策を講じるべきである。速度制限など強力に取り組む。	道路の改善は難しい。別のルートも検討すべきだと感じている。	総務文教	○		
			産業建設	○		
8	平成29年~30年に農道の拡張工事を検討している。日吉台の中にある市道につながるので、通学路にすることも考えられる。市道の認定をお願いしたい。	予算も考慮しながらではあるが、子どもの安全を最優先にすべきという考えの中で、地元の意見も聴き、できる方法はないか検討していかねばならない。	総務文教	○		
			産業建設	○		
9	車両進入禁止の看板の設置に感謝する。罰則はないものだが効果が期待される。まだまだ多くの危険箇所がある。声を出し続けることが大事だと考えている。	千代川町だけでなく、他の地域でも啓発の看板が設置されたと聞く。地域要望で設置されたものだと考える。	総務文教	○		
			産業建設	○		

## わがまちトークで頂いた意見・要望等と回答について

日時(H29.1.14 20:00~21:15)

会場(千代川町自治会館)

テーマ(通学路の安全対策について)

	意見・要望などの概要	当日回答内容	所管	対応		
				参考	報告	調査
10	警察や公安委員会に対する対応が難しい。警察と地域との密接なつながりが無い。警察や公安委員会にどのような形でつなげていけばよいのが難しい。	特に公安委員会は対応が難しい。横断歩道を設置するように市が要求したが、1年半かかったこともある。	総務文教	○		
11	初めてわがまちトークに参加したが、千代川町のことを考えていただき、力強い言葉をいただき、よい場だと思った。通学路は危険なところが多く、自分の身は自分で守るよう子どもには言っているが、それでも危険な状態である。冒頭、携帯の話があったが、大人が見本となって子どものモラルを育てていかねばならない。	議員全員に対しての言葉である。それぞれの立場で受け止めていく。	総務文教	○		
			広報広聴	○		